

千葉市災害対策本部 本部員会議 28回目

1 日時

令和元年10月25日（金） 17時30分～

2 議事内容

（1）本部長指示事項

- ・各部・各区対応ありがとう。
- ・土砂崩れで亡くなった方が出ており、千葉市としても大きな災害となっている。人命救助、第一で対応すること。
- ・内房線、外房線の運行停止で帰宅困難者が発生した場合、万全の対応をすること。
- ・各部署で早め早めに対応し、被害を最小限にすること。

（2）各部からの報告

○事務局

- ・資料で説明（避難勧告等）

○都市部

- ・住宅の被害が出ている。
- ・り災者用住宅を用意している。8戸すぐに入居可能。6戸が月曜日から入居可能。緑区で5戸、若葉区で2戸すぐに入れる。
- ・土日は住宅供給公社で対応できる。
- ・17時現在の電車の運行状況は、総武快速、京葉線は遅れている。内房線は千葉、館山間で運休。外房線は誉田駅以東で運休。千葉、成田間で運休。京成は遅延している。モノレールは通常運行。バスは一部遅れている。
- ・千葉駅は運行するため、駅構内に入れる。
- ・公園で土砂崩れが3件発生した。

○市民部

- ・市民会館、蘇我コミュニティセンターを帰宅困難者用の一時滞在施設として開設している。

○建設部

- ・16：30現在、通行止めは13か所となっている。
- ・末広地下道、1回水が引いたが、再度、冠水し通行止めとなった。
- ・千葉駅周辺で人的被害は生じていない。
- ・蘇我駅周辺はかなり水浸しとなった。周りの店舗に聞き取りを行ったが、あまり被害はないとのことであった。引き続き、調査する。

- ・春日地下道は、一時通行止めとしたが、水が減り、現在は通行可能である。
- ・矢作トンネルは都川の水位の関係で通行止めとしている。
- ・高速道路については、京葉道路穴川－蘇我間、千葉東金道路、東関東自動車道千葉北－成田間、外房有料道路が通行止めとなっている。
- ・越智町等で土砂崩れにより通行止めとなっている。
- ・下水関係では、市内各所で越水しており、消毒等天気を見ながら対応する。

○教育部

- ・小学校は保護者引き渡し、中学校は教員の付添いで下校した。なお、迎え希望の児童など一部は、現在も残っている。
- ・公民館、図書館で雨漏りが発生している。特に中央図書館の雨漏りがひどいが、業務は継続できている。

○保健福祉部

- ・支援が必要な病院はない。有床診療所の坂の上外科は床上浸水したが、掃き出しで排水は完了した。
- ・高齢者施設の被害はない。
- ・ガーデンセブンの1階にある風呂、職員室に土砂が入ったが、居住スペースには入らなかったが、危険性があるので、居住者39名のうち、29名は自宅にもどった。残りの10名は職員6名と食堂等にいる。

○こども未来部

- ・大椎ルームは勧告対象地域であったため閉所した。椎名ルームは裏山で土砂崩れが発生したため閉所した。
- ・少年自然の家では、茂原街道で車が動けなくなり、長柄町からの要請で9名受け入れた。

○水道部

- ・緑区の一部で停電が発生したが、給水要望はない。

○環境部

- ・し尿汲み取りであふれたところがあり、明日、対応する。
- ・道路通行止めのため土曜日回収の資源物コンテナが3か所配布できず、収集を行えない。自治会には連絡済。
- ・土気でがけ崩れが起きた場所は、再生土の埋め立てで指導している現場の横である。土砂崩れは、地山が崩れたものであり、再生土の埋め立て現場ではない。

○都市部

- ・発電機が4機あるので、必要があれば使用可能である。

○緑区

- ・誉田3丁目の住人20名が3丁目自治会館に避難しており、区で避難物資支援してい

る。

- ・板倉町では、2世帯4名が自治会館に避難している。
- ・帰宅困難者の一時滞在用に鎌取コミュニティセンターを用意しており、現在、夷隅の方が1名利用されている。
- ・床上浸水8件、床下浸水20件あるので、市営住宅の斡旋をお願いしたい。
- ・緑区が避難所を多く開いており、直近要員等の人員の動員をよろしくお願いします。

○中央区

- ・院内での断水は解消した。
- ・新宿を除き、避難所を開設した。星久喜、宮崎で避難希望者がいる。

○稲毛区

- ・黒砂公民館に避難していた2名は帰宅した。避難者はいなくなったが、今晚は開設する。

(3) 今後の予定

- ・次回本部員会議は10月26日(土) 8時30分～